

アレチノギク (荒地野菊)

名前の意味^{いみ}：荒地に咲くキクの意味。何も生えていない空き地に好んで生えるキク科の植物だから。

分類：双子葉類、キク科、イズハハコ属

(キク科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：南米

特徴：地面を円くおおう、粗いでこぼこのある葉、白い毛の生えた枝別れする^{くき}茎、小さな毛を束ねたようなたくさんの花

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数^{ごうべん}：合弁、5裂^{れつ} (たくさんの花が集まってひとつの花に見える。1つの花の形は小さくてよく見えない)

花の時期：5－7月

食べ方：食べない

見分け方：オオアレチノギクとは、花が少し大きくて早く咲くこと、葉のぎざぎざ^{きよし} (鋸歯) ^{あら}が粗いこと、先端^{せんたん} (頂端) の花が咲いた後、その下から一斉に枝を伸ばすことで区別できる。ヒメムカシヨモギとは、花に花びららしい花びらがないこと、葉の幅^{はば}が少し広く、葉のぎざぎざ^{きよし} (鋸歯) ^{あら}が粗いことで区別できる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)